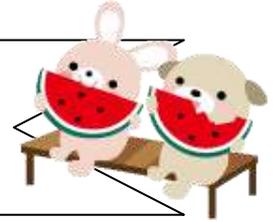




♪新着案内♪

# 図書だより 7月号



平成 28 年 7 月 13 日 輪島市立輪島中学校

今月は、「文豪・日本の文学」の特集をします！最近では、文豪と呼ばれる作家たちの本の表紙もおしゃれになって、非常に手にとりやすくなっています。普段は、なかなか読む時間がない人もぜひ、夏休みにじっくり読書を楽しんでみてはどうでしょうか？



「文豪ストレイドッグス 1~3」 朝霧カフカ/著

あの国木田独歩が武装探偵社で軍や警察に依頼できない危険な任務を新入社員の太宰治とコンビでまかされることに。敵のマフィア・芥川龍之介からの襲撃を受けた二人はどうなってしまうのか？

文学のエッセンスがちりばめられた知的な雰囲気もいい。それぞれの文豪のイメージが変わるようなイラストも印象的。



上記のライトノベルで、文学に興味を持った人には、リアル文豪の作品もおすすめします！

「羅生門・鼻・芋粥」 芥川龍之介/著

“下人の行方は誰も知らない”

平安時代、飢饉などで荒れ果てた羅生門。死体が放置され、地獄のような世界で、男が出会う老婆は、そこでいったい何をしているのか？



「女生徒」 太宰治/著

“ああ、汚い、汚い。女は、いやだ。”

ある女の子の心の中を素直に描いた作品。今で言えば、SNS でつぶやくような感じですね。太宰が得意とする、主人公の女性が語るという手法で、表題作のほか計 14 の短編も収録。

「ころ」 夏目漱石/著

“しかし君、恋は罪悪ですよ。わかっていますか”

鎌倉での夏休み、私はある人物と出会い、その人を先生と呼ぶようになる。彼は、学もあるのだが仕事もせず、ひっそりと暮らしている。友人の墓参り以外はめったに外出しないというが、ある秘密があった。作品のあらすじや解説もあって、親切。夏目漱石の最高傑作！

